

地区研究大会報告

知多地区

知多地区事務局員 山本 優樹（愛知県立武豊高等学校）

令和2年度知多地区研究会を次のように実施しました。

- 1 日 時 令和2年7月から
- 2 方 法 知多地区の各高等学校にアンケートを実施
- 3 テーマ ICTを活用した学習支援—知多地区の高等学校の取り組みを例に—
- 4 参加校 14校
- 5 内 容

本年度は、新型コロナウイルス感染症の流行もあって、対面型での講演等を行わず、各学校におけるICTを活用した学習支援の方法や実践について調査を行い、まとめて各学校にメールで配布した。調査の内容は、休業中の学習支援の方法を主に、協力いただける高等学校には実際の生徒への学習支援教材の閲覧をお願いさせていただいた。ICT学習支援の実践例や手法についてはまだ広く知られておらず、効果的な活用方法や利用しやすいツール（アプリケーション）等についての情報や課題を共有し、今後のICT活用の推進につなげていきたいと考えた。

調査の中で、知識や工夫によって比較的小さな負担でICT機器を有効活用できるということがわかった。その知識や課題を共有し、各学校・各教員が学校の実情や教育課程に合わせて活用してその情報を広げていくことで、今後の教育活動に生かすことができるのではないだろうか。我々教員は生徒への多様な学びの場を提供するために、ICT機器の基本的な操作や特徴、ツール（アプリケーション）の活用方法を知っていなければならない時代が到来している。まずは小さい単位であるが、知多地区で知識や経験を共有し、さらに他地区と交流することを通じて、教員としてのレベルアップを図っていきたい。